

構成（研究領域）

造形構想領域

造形構想専攻からなる博士後期課程の教育課程は、現代社会の要請に応える教育機関として、美術大学に限らずさまざまな専門領域を学んだ学士や、既存の枠組みを超えて新しい価値創造に挑戦すべく真の創造的思考を学ぼうとする社会人を対象とする一方、造形構想学部から造形構想研究科修士課程、さらには博士課程へと継ぎ目のない9年制の一貫した教育体制を実現します。

造形構想研究科修士課程においては、リーダーシップ研究（クリエイティブリーダーシップコース）と作品研究領域（映像・写真コース）という2領域を設けており、造形構想学部における学科構成に対応する形式をとっています。これに対し、博士後期課程において研究領域を造形構想領域の1領域としているのは、研究目的に掲げている「造形教育による創造的思考力を基盤とし、新たなメディア表現と社会装置化や様々な社会問題の解決方法を構想することによって創造的イノベーションを起こす人材の養成」が、研究の深化に伴って「造形構想」という概念に収斂されるからです。

学生は入学すると「造形構想特論」（1単位）を履修します。クリエイティブリーダーシップコースでは、各学生が自身の研究分野についての講義を行います。映像・写真コースでは、映像・写真分野に関わる先進的な社会課題や周辺分野について、専門的な講義を行います。

さらに、1、2次の間に、「造形構想理論研究Ⅰ・Ⅱ」「造形構想実践研究Ⅰ・Ⅱ」の中から、各学年で2単位、2年間で4単位を選択し履修します。研究者養成及び高度専門的職業人養成にそれぞれ重点を置いており、学生は設定した研究テーマに応じて科目を選択します。

「総合研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」では、研究活動についてアカデミックな視点から指導を受けます。また、複数の教員により、博士論文の指導を受けることになります。以上、3年間に併せて10単位以上を修得します。

授業科目および単位数

造形構想研究科 博士後期課程 / 単位数

学年		1		2		3	
科目区分		科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
専門総合科目	必修	造形構想特論	1				
	選択	造形構想理論研究Ⅰ	2	造形構想理論研究Ⅱ	2		
		造形構想実践研究Ⅰ	2	造形構想実践研究Ⅱ	2		
研究指導科目	必修	総合研究Ⅰ	1	総合研究Ⅱ	2	総合研究Ⅲ	2